



10月7日、町民センター2階第2会議室において「第14回真鶴町学校建設準備委員会」が開かれました。今回のくじは「パズルのピース」でした。新しい学校づくりは、一枚の大きなパズルを組み立てていくような作業です。現在、学校建設準備委員会では、「基本設計」策定に向けた協議を進めています。多様なピースを少しずつ組み合わせ、未来の学校の姿を形づくってまいります。それでは、第14回学校建設準備委員会で協議し、10月20日の教育委員会定例会で決まった内容等について報告します。

◆問い合わせ
教育課 ☎内線6705



委員会の議事録と
資料（一部）

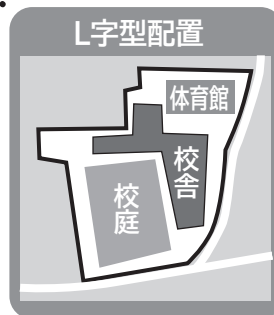


最終的に「L字型」配置が選ばれました

主な理由

- ① 正門と校舎の距離が近く、学校の顔づくりとなる。
- ② 正門と昇降口の距離が近く、学校へ向かう心理的距離が近くなる。
- ③ 教室の日当たりや風通しがよく、快適な学習環境を確保できる。
- ④ 校庭や広場が十分に確保でき、地域にも開かれた配置である。

この配置に
決定！



新しい学校に幼稚園は含めないことが決まりました

敷地の広さを考えると、「幼稚園を含めることは難しい」という判断となりました。今後、認定こども園への移行を見すえ、別の協議の場で早めに検討を進めてまいります。

主な理由

- ① 認定こども園への移行を予定
 - ・今後、幼稚園を認定こども園へ移行する方針
 - ・認定こども園は、幼稚園より広い敷地や設備が必要
 - ・「こども誰でも通園制度」に対応するため、さらに広い施設が必要
- ② 学校のスペース確保
 - ・将来のクラス増などに備えて、可変スペースの確保が必要
- ③ 建設費からの判断
 - ・3階建ては、防災設備の強化などで費用が大幅に増加するため、2階建てを基本とした設計で進めることとする



次年度からの小中学生の共同生活に向けた課題の整理を行いました

10月8日(水)に学校建設準備委員会の部会(第1回)を開催し、2026(令和8)年9月から始まる小中学生の共同生活に向け、円滑なスタートを切るための課題整理を行いました。今回の検討では、次の7つの観点から、不安や課題を洗い出し、優先の順位をつけて解決に向けて協議を進めます。

- ① 小中学校の生活空間が同じになることによる不安・課題
- ② 登下校に関する不安・課題
- ③ 小中学校統合に対する子どもたちの声や思い
- ④ 子どもたちに期待することや願い
- ⑤ 学校や先生たちに期待することや願い
- ⑥ 保護者に期待することや願い
- ⑦ 教育委員会に期待することや願い

あわせて、「まなづる未来学(仮称)」に向けて、地域にある自然・文化・人材などの地域資源や人的資源の洗い出しも行いました。子どもたちが安心して新しい学校生活を始められるよう、今後も検討を進めてまいります。

予約不要

教育を語り合う会2025

“母校をつくろう” 第4回のお知らせ

日 時：2026年1月17日(土)
9:30～12:00

会 場：町民センター3階 講堂

内 容：これまでに話し合った内容をもとに、設計チームが練り上げた最新の設計プランをお披露目し、意見を交わします。

託児スペース
あります！



託児スペースを希望される方は、1月9日(金)までに教育課までご連絡ください。